

第9次愛知県卸売市場整備計画取組の状況について (計画期間：H23～H27、目標年度：H27)

計画策定時における現状と課題

生産・出荷の大型化の進展に伴う中央卸売市場とその他の卸売市場の格差の拡大

食品の品質に対する関心の高まりや鮮度保持技術の進歩に対応した卸売市場施設整備と品質管理の徹底の要請

大規模小売業者・外食産業事業者等からの、大量安定取引や加工処理機能、貯蔵・保管機能及び輸送・搬送機能の強化の要請

需要の小口化・食の簡便化の進展など、消費者ニーズの更なる多様化

情報通信技術の進展が、生鮮食料品の流通や消費動向に影響

食の安全や環境問題等の社会的要請への適切な対応

生産者による直売方式や、大規模小売業者等による直接買付等の増加による市場経由率の減少

課題への対応方針

1 卸売市場の適正な配置の推進
地方卸売市場の整備・統合を推進
71市場 目標(H28.3末): 39市場
開設者、卸売業者や仲卸業者の経営の改善・安定を図る

2 地方卸売市場の機能強化
(1) 地域に密着した生鮮食料品等流通への支援
循環型社会への対応
新鮮・安全志向等の消費者ニーズへの対応
生産者、実需者や消費者との交流や連携を通じた地域に密着した生鮮食料品等の流通の取組の推進

(2) 公正かつ効率的な取引の実施
出荷の大型化や取引の安定化の要望に応えるため、多様なニーズに対応し得る取引方法の設定による適切な価格形成
相対取引が増えている中での透明性の高い取引情報の提供

(3) 場内物流施設の充実と品質管理の高度化の推進
コールドチェーンシステムの構築
鮮度・品質を保持できる物品管理体制の強化
保管・加工処理・配送施設等の整備を推進

(4) 情報化の推進
産地や消費地への情報提供機能の強化
より高度な情報の発信やシステム構築の推進

(5) 集荷・販売力の強化
集荷・販売活動における市場間連携の推進
消費者ニーズに応える商品作りのための情報受発信機能の強化

(6) 市場運営体制の整備
地域性や個々の課題等を踏まえた卸売市場全体の経営戦略の確立

取組の進捗状況

卸売市場は、廃業等により減少しており、整備・統合は進んでいない。依然として経常損失を計上している卸売業者が多数あり、経営は厳しい状況となっている。

卸売市場数
71市場(H22) 65市場(H27)
経常損失を計上している卸売業者
15業者/51業者(H22)
17業者/45業者(H26)

生ゴミの再資源化等の環境型社会への対応は改善が見られるものの不十分である。低温(定温)卸売場の設置等の食の安全・安心への要求に対応した取組を行っている市場は半数以下であり、取組を更に進めていく必要がある。また学校給食への地場野菜の供給や市場開放などに取り組んでいる市場もあるが、地域に密着した生鮮食料品等流通のため更なる取組が必要である。

通い容器の利用
20市場(H21) 19市場(H26)
木製廃棄パレットの再利用
5市場(H21) 5市場(H26)
生ゴミの再資源化
2市場(H21) 7市場(H26)
低温(定温)卸売場の設置
10市場(H21) 14市場(H26)
学校給食向け地場野菜の供給
15市場(H27)
市場開放等交流活動の実施
22市場(H27)

取扱数量や卸売価格の決定方法などの取引情報の公開は24市場にとどまっております。公正な取引の確保のため、更なる情報公開が必要。

取引情報の公開
24市場(H27)

低温(定温)卸売場の設置や品質管理に関する責任者を設置している市場は増加しているが、約半数であり、品質管理の高度化等の取組を更に進めていく必要がある。

加工処理施設の設置
13市場(H27)
品質管理に関する責任者の設置
10市場(H21) 21市場(H26)
品質管理の高度化に向けた規範の策定
15市場(H27)

半数以上の市場がWebページを公開しているが、Web取引等のより高度な情報化の進展が必要。

Webページの公開
29市場(H26)

他市場との業務提携等に取り組んでいる卸売業者もあるが、引き続き市場間連携による集荷・販売力の強化の取組が必要。

他市場との業務提携等
9市場(H21) 12市場(H27)
緊急事態における自治体との協定締結
6市場(H27)

経営方針を策定している市場は少ない。また、BCPの策定等を行っている市場は少数で、災害時等の緊急事態への対応強化が進んでいない。

経営方針の公開
9市場(H26)
BCPの策定
4市場(H27)